



「魚野川支流破間川 源流シーズン到来に向けて」

開催日：2024年6月28日～30日

メンバー：平江誠(リーダー)、寺尾一木、黒須悠輔

報告者：黒須悠輔

源流に行く我々が常日頃鍛えているかといえそうでもない。源流では命を懸けた遊びを仲間と共に楽しんでいるが、街中では社会人としてそれぞれ忙しい日々をおくっている・・・と思う。そのため、シーズン中以外は運動不足になりがちであり、いきなり本格的な源流釣行に行ってしまうと体力が不足していたり、関節や筋肉に突然負荷が掛かり怪我に繋がることもある。よって常日頃とは言わなくても7～9月のシーズン到来に向け体作りをしておくことは、同行メンバーに迷惑を掛けないためにも大切だ。

本釣行は体ならしを主目的として、新潟県の魚野川支流破間川(あぶるまがわ)で2泊宴会釣行(体作りも大切だが、もちろん焚火と酒も欠かせない)を実施したときの記録である。



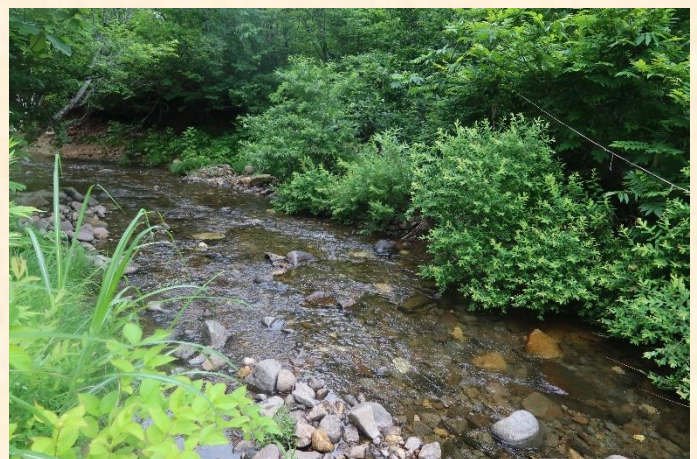
車を停めて



じゃのんびり行きますか



左沢で小休止



平凡な沢

左沢で小休止した後、登山道を歩き田代平林道に出る。田代平林道は破間川沿いにあり田代平湿原と国道289号(※)に伸びている。林道は荒廃しており途中までしか車で行けませんが、そもそも林道の入口にゲートがあるため関係者以外入ることはできない。ただ、近くの宿に宿泊するとゲートを開けてもらい車で行けるらしい。ということで運が悪ければ車で楽に来ている人に先行される可能性がある。林道両脇の草の踏まれ具合が真新しく嫌な予感がしていたが、車止めに着いたとき懸念は現実のものとなった。人気河川、恐るべし。

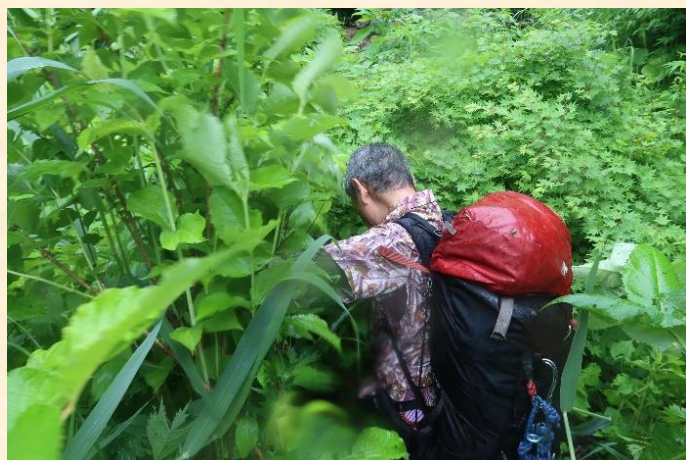
(※ 国道289号は新潟県新潟市と福島県いわき市に至る総延長304kmの道路であるが現在のところ車両が通行できる道路は開通していない。県境部分の八十里越など改築事業が進められており2026年秋の開通が予定されている)



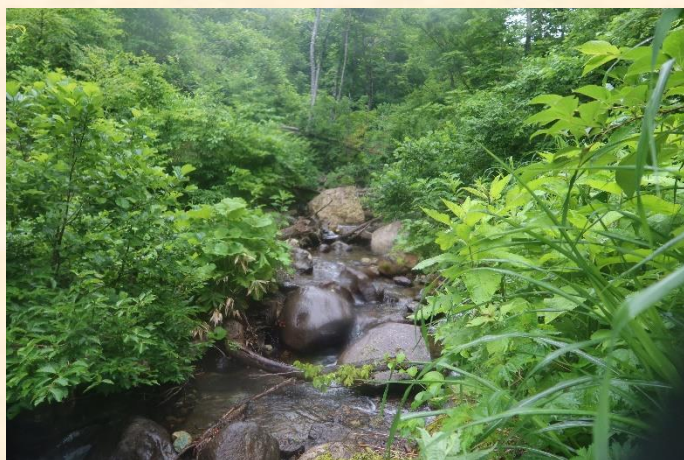
ゲッ！車いるじゃん・・・



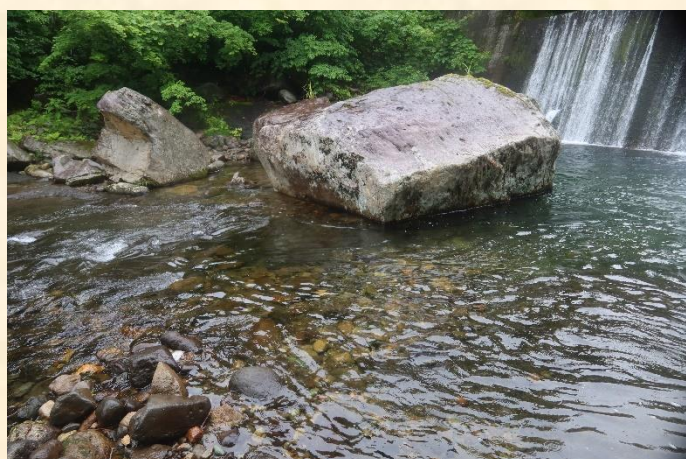
参ったな～



どうせ上流に入っているから、下流行こうぜ



枝沢から破間川へ



テンバ設営後 黒須はオニチョロ採取し釣りへ



堰堤をじっくり攻め尺イワナ確保



イワナを綺麗に捌くため初めて買ったペティナイフ(SG2 粉末ハイス鋼)
(今では全面鏡面仕上げと化したこのナイフもこのときは研ぎが下手で傷が入ってしまい恥ずかしい…)



イワナを捌くと
俺ちんがつまみ作ってやるよと寺尾さん



岩魚の味噌たたき
新しい極上の岩魚つまみを発見



テンバは枯れたツルヨシ原でフカフカ



平江さんの豚しゃぶときゅうりのサラダ
さっぱりとしていて、いくらでも食べてしまう

時刻は 19 時半を過ぎかなり暗くなってきた。平江さんが「タマズメで釣れるかもな」と言うのでテンバから出ると今までどこに隠れていたのかと思うほど、至る所でバシャバシャとライズが！！昼過ぎにテンバ前で竿を出したときは無反応だったが、タマズメが始まったようだ。

テンカラ名人平江さんも我慢できずに竿を振る。(ここからは暗すぎて見えなかったが、たぶんそうなんだろうという推測である)毛バリがふわりと着水したと同時にイワナが勢いよく水面を割って毛バリに食らいつく。その瞬間平江さんがバシッと合わせを入れ、イワナは空を舞う、そしてテンカラの長いラインを手繰り寄せ見事にキャッチ。(私には暗すぎて見えていないが、どうやら釣れたようなので慌ててカメラのフラッシュを焚いた)



川虫の羽化を狙い至る所でライズが始まる
カメラ G7xMarkⅢの高感度耐性が高いため明るく
見えるが時刻は 19:50 で肉眼だとほぼ何も見えない



竿を振る平江さん(指差しているわけではない)
魚が食いつく瞬間も薄っすらと見えるらしい
その瞳はカメラと同等以上の高感度耐性を有す



タマズメの一尾
夜釣り?を堪能し平江さんご満悦



「今日は調子良いよ～」
新調したモンベル上着を着る寺尾さん
極上テンバで絶好調



おニューのエアマットが快適なご様子
あのワイルドなマットを使っていた平江さんが…
びっくりです(笑)

(2日目)

2日目も天気に恵まれ絶好の釣り日和。車止めに置いてあった2台の車より、上流側に先行者がいることは確実であるものの、我々は先行者と釣り区間が被らないよう大分下流側にテンバをとっているはずである。あわよくば竿抜けした区間で破間川の岩魚との駆け引きを心ゆくまで楽しみたいところだ。



テンバキーパーでもいいけどね



暑くて居られなくなるよ

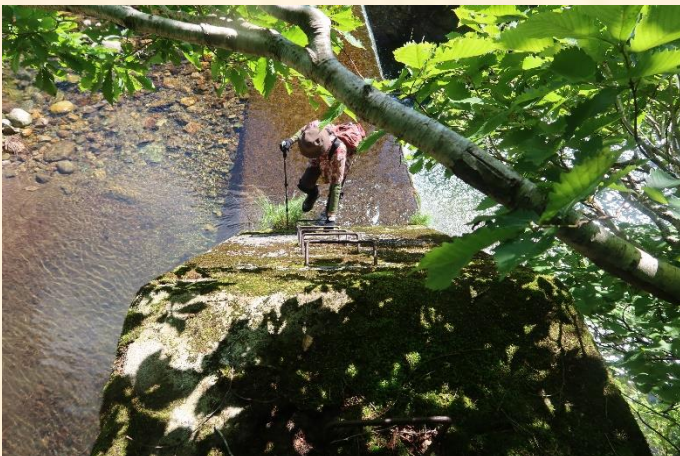


美味しく頂きました



際どいポイントをへつる寺尾さん

テンバから歩き始めて10分程度で堰堤に着く、ここから上で釣り始めようということになり、右岸側から堰堤を越えようとしたとき「あれっ!？」と寺尾さん、泥の上を歩いた足跡を見ている。「この足跡は昨日だぞ」狩猟で培われた経験から即座に先行者が昨日歩いた足跡だと判断した寺尾さん。残念ながら先行者は我々とほぼ同じ地点から入渓し釣り歩いたのち、テンバをとり更に上流へ釣り歩いたようだ。あわよくばと思っていたが、こればかりは仕方がない。



堰堤を降りると



気持ちの良い穏やかな流れ



竿を出してみるものの
かなり渋く釣れても小さい・・・ダメだなこりゃ



となれば遊ぶしかない



いけるいける～



と見せかけて実は登っていません(笑)



素晴らしい天気と溪相なのに・・・



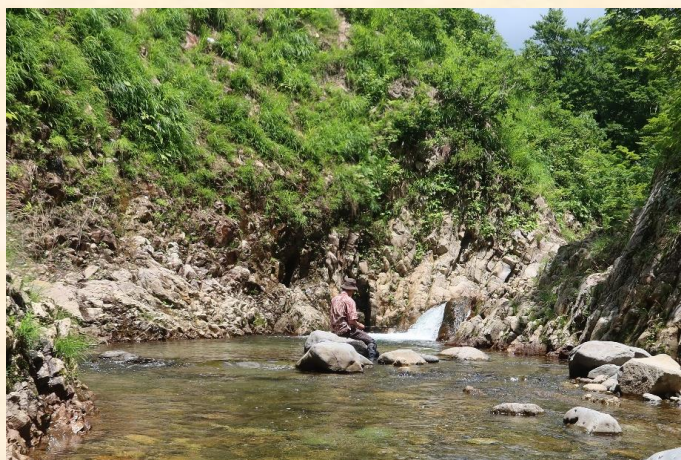
プチゴルジュもあるのに・・・



寺尾さんがルアーでチャレンジ



どれどれ



反応ないね、撤収！



宴会突入だ～



餃子の皮でチーズ巻き(平江さん)



極上の焚火を囲んで乾杯！



宴会を楽しむ二人（カメラマン 寺尾さん）
躍動感のある良い写真ありがとうございます



相当酔ってますな、これは(笑)



俺ちん、写真上手いでしょ
はい、私より上手いです(汗)



私は焚火前でゴロンであえなく撃沈
熱くて起きたが危うく燃えるところだった(笑)



箸がツルヨシと同化し幾度となく紛失するため
地面にぶっ刺すのが最適解と導いた寺尾さん
マナーが悪いとは言わせない



帰路の写真をパシャパシャ撮っていると…突然



「だあっつ！！」
(華麗なシングルアクセルと思いきや豪快に転倒)



「なんだあ～～！？」



どうやら大きな石に躓いた模様
寺尾さん、面白過ぎます(笑)



本格源流シーズンに向けての体ならしという当初の目的は、概ね達成できたと思う。ただ破間川は危ないところも無く、源流マンでなくても容易に入れる人気河川であるため、自分達だけで源流を独り占めするのは難しい。あくまで宴会メインで癒されにいくのだと割り切ればこの上なくピッタリな場所と言えるだろう。